

SPECIAL
ROUTE

「地元が誇る、後世に残すべき 遺産を巡る旅」



山鹿市



八千代座

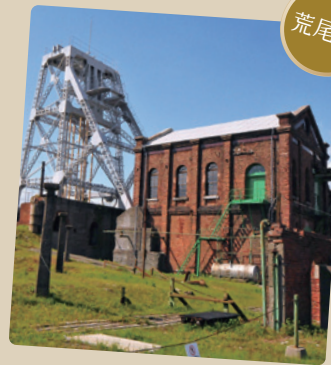
明治43年に建築された芝居小屋で、国指定重要文化財。ドイツ製のレールを使った廻り舞台やレトロな看板、色鮮やかな天井広告など見所も多数。公演日以外は見学可能。

代々伝えるべき文化や歴史遺産：それは地域の誇り、国の重要文化財であったり、世界遺産候補であったり、日本もしくは世界に認定された歴史的遺産。これらの遺産はその地域に住む人たちの誇りであり、これからもその誇りを後世に受け継いでいく精神的な遺産でもある。そんな地域の人たちの誇りである遺産を巡り、歴史、文化、生きざまに触れてみよう。

荒尾市

万田坑

1951年まで採炭されていた日本最大規模の竪坑で、国の重要文化財、史跡に指定。現在は、第二竪坑・檜、巻揚機室などが保存されている。ユネスコ世界遺産に推薦された。



菊池市



菊池神社

菊池氏の歴史を伝える神社。南北朝時代に南朝側で戦った菊池氏の3代を祀っている。敷地内には菊池一族の歴史を伝える資料館もあり、菊池千本槍など菊池氏約450年の歴史の遺物を展示。

玉名市



旧玉名干拓施設

2010年に国の重要文化財に指定された。明治時代にかけて建造された干拓関連施設。田畑に横たわるように存在する全長約5.2kmの堤防跡は、全国でも最大規模で珍しい。